



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント 上場取引所 東
 コード番号 2124 URL http://corp.jac-recruitment.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松園 健
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 管理本部長 (氏名) 服部 啓男 (TEL) 03-5259-6926
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	6,414	△5.1	1,850	△12.3	1,864	△11.6	1,282	△12.4
2019年12月期第1四半期	6,760	25.1	2,109	60.5	2,110	59.1	1,464	62.2

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 1,060百万円(△29.9%) 2019年12月期第1四半期 1,512百万円(61.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	31.36	31.34
2019年12月期第1四半期	35.99	35.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	17,402	13,810	78.8
2019年12月期	20,092	15,840	78.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 13,704百万円 2019年12月期 15,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	12,062	△5.1	2,981	△11.4	3,010	△10.7	2,010	△16.4	49.02	
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期 1 Q	41,292,000株	2019年12月期	41,292,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	179,650株	2019年12月期	422,349株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期 1 Q	40,887,838株	2019年12月期 1 Q	40,682,018株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式付与E S O P信託口が保有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済においては、全世界で急速に拡大する新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感は急速に悪化いたしました。4月の月例経済報告においては2009年以来11年ぶりに景気判断が「悪化」と表現され、また、2019年4月の1.63倍を最高値として低下傾向が続いていた有効求人倍率は年明けの2020年1月から下げ幅を拡大して、3月には1.39倍まで下降しております。

このような状況の中、当社グループの業績は、中核の国内人材紹介事業において前年度下半期に実施した生産性向上のための諸施策が奏功して同第4四半期の成約実績が回復した結果、全体としては順調な進捗となりました。

しかし、その一方で当該感染症の影響を国内より早期に受け始めた海外事業の業績は厳しい状態にあり、また、国内人材紹介事業におきましても、時間の経過とともに求人企業の採用選考業務に遅れが目立つようになり、4月7日の緊急事態宣言発出以降は当社においても全社的に在宅勤務へ移行するなど、これまでに経験したことのない環境の中での業務が続きまして。

当社グループといたしましては、このような変化に対応するべく、当社情報システム部が中心となってグループ全体の在宅勤務に必要となるインフラ整備を速やかに完了させる一方、各事業におきましては当該感染症が沈静化した後にも活用できるよう業務の効率的な再編成に取り組んでおります。

経費につきましては、上記の状況を踏まえ、社員採用も含めて期初計画からさらに踏み込んだコストコントロールを実施しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は6,414百万円(前年同期比5.1%減)となりました。セグメント別売上高は、国内人材紹介事業が5,713百万円(同0.3%減)、国内求人広告事業が77百万円(同12.7%減)、海外事業が623百万円(同33.6%減)となっております。

利益面では、営業利益は1,850百万円(前年同期比12.3%減)、経常利益は1,864百万円(同11.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,282百万円(同12.4%減)となりました。セグメント別損益は、国内人材紹介事業が1,923百万円(同9.5%減)、国内求人広告事業が△6百万円(前年同期は△0百万円)、海外事業が△62百万円(前年同期は△13百万円)となっております。

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(百万円)	前年同期比(%)
国内人材紹介事業	5,713	99.7
国内求人広告事業	77	87.3
海外事業	623	66.4
合計	6,414	94.9

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

なお、事業別・業界部門別に示すと、以下のとおりであります。

事業・業界部門	売上高（百万円）	前年同期比（％）
1. 国内人材紹介事業		
電気・機械・化学業界	2,012	89.8
消費財・サービス業界	1,230	87.3
メディカル・医療業界	993	111.2
I T・通信業界	839	121.9
金融業界	604	121.0
その他	33	5,902.0
国内人材紹介事業 計	5,713	99.7
2. 国内求人広告事業		
国内求人広告事業 計	77	87.3
3. 海外事業		
海外事業 計	623	66.4
合 計	6,414	94.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、株式会社バンテージポイントの子会社化によるのれん569百万円の増加等がありましたが、一方で保有社債の売却に伴う投資有価証券2,406百万円の減少、現金及び預金883百万円の減少等があり、前連結会計年度末に比べて2,689百万円減少の17,402百万円となりました。

負債につきましては、賞与引当金593百万円の増加、預り金407百万円の増加等がありましたが、一方で未払費用1,168百万円の減少等があり、前連結会計年度末に比べて659百万円減少の3,592百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益1,282百万円を計上しましたが、一方で剰余金の配当3,303百万円や為替換算調整勘定の減少217百万円等により、前連結会計年度末に比べ2,030百万円減少の13,810百万円となり、自己資本比率は78.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月14日付の「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で開示いたしましたとおり、当年度の当社グループの事業計画は、もとより利益の確保を最優先に財務基盤を堅持することを念頭に置いて策定いたしました。しかしながら、当該事業計画では国内においての新型コロナウイルス感染症拡大の影響は想定しておらず、また、当該感染症による国際情勢の変化もすでに当時の想定を大きく超えたものとなっており、未だその収束の目処も立っていないのが現状であります。当社グループの主要な収益源となっております国内人材紹介事業におきましても、4月7日の緊急事態宣言発出以降は在宅勤務に移行しております。

当社グループにおける在宅勤務への移行自体は順調に進み特に大きな問題も発生しておらず、今できる最大限の範囲で業務に集中しております。しかし、特に日本国内におきましては緊急事態宣言の発出以降、また海外におきましても同様に当社側の営業活動、求人企業側の採用活動の両面で進捗に遅れが目立つようになり、求人数も減少しております。また、当該感染症をめぐる諸般の情勢が当期中どのように変化していくのかについても全く予断は許されず、こうした不透明感の中で求職者の入社日延期に伴う売上計上の遅れ、さらには成約案件の取り消しといった事例も出てきている現状におきましては第2四半期(累計)の連結業績予想を修正せざるを得ず、また、今後7ヶ月以上を残す通期に関しては合理的な業績見通しを立てることが難しくなっております。

以上に鑑み、2020年2月14日付「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で開示いたしました第2四半期(累計)の連結業績予想を修正させていただくと同時に、通期の連結業績予想ならびに当期の配当予想につきましては一旦未定とさせていただき、合理的な予想が可能となった段階で速やかに開示いたしたく存じます。事情ご斟酌賜りますと幸甚であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,397	10,514
売掛金	1,215	1,516
貯蔵品	4	1
前払費用	277	305
その他	159	100
貸倒引当金	△22	△14
流動資産合計	13,032	12,423
固定資産		
有形固定資産		
建物	402	401
減価償却累計額	△210	△214
建物(純額)	191	187
機械及び装置	36	36
減価償却累計額	△17	△18
機械及び装置(純額)	18	17
車両運搬具	0	0
減価償却累計額	△0	△0
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	432	421
減価償却累計額	△332	△325
工具、器具及び備品(純額)	99	95
リース資産	6	6
減価償却累計額	△5	△5
リース資産(純額)	0	0
その他	337	301
有形固定資産合計	648	602
無形固定資産		
のれん	1,848	2,418
ソフトウェア	550	576
ソフトウェア仮勘定	178	209
無形固定資産合計	2,577	3,204
投資その他の資産		
投資有価証券	2,406	0
出資金	0	0
敷金及び保証金	732	731
破産更生債権等	6	6
長期前払費用	3	3
繰延税金資産	691	436
長期未収入金	13	13
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	3,833	1,171
固定資産合計	7,059	4,979
資産合計	20,092	17,402

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
リース債務	0	0
未払金	371	417
未払費用	1,690	521
未払法人税等	789	408
未払消費税等	478	488
預り金	240	648
前受収益	47	61
賞与引当金	—	593
役員賞与引当金	—	28
株式給付引当金	216	38
解約調整引当金	59	66
災害損失引当金	11	—
事業所閉鎖損失引当金	—	9
その他	164	153
流動負債合計	4,069	3,435
固定負債		
その他	182	156
固定負債合計	182	156
負債合計	4,251	3,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	619	619
資本剰余金	1,569	1,569
利益剰余金	13,872	11,851
自己株式	△369	△157
株主資本合計	15,691	13,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	—
為替換算調整勘定	39	△178
その他の包括利益累計額合計	43	△178
新株予約権	105	105
純資産合計	15,840	13,810
負債純資産合計	20,092	17,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	6,760	6,414
売上原価	618	443
売上総利益	6,142	5,971
販売費及び一般管理費		
役員報酬	139	154
給料及び手当	1,631	1,693
法定福利費	275	297
株式報酬費用	8	—
退職給付費用	70	71
賞与引当金繰入額	594	593
役員賞与引当金繰入額	4	28
株式給付引当金繰入額	56	33
貸倒引当金繰入額	8	0
地代家賃	259	257
減価償却費	79	133
のれん償却額	46	64
広告宣伝費	332	248
その他	525	543
販売費及び一般管理費合計	4,032	4,121
営業利益	2,109	1,850
営業外収益		
受取利息	5	2
為替差益	—	10
貸倒引当金戻入額	—	7
その他	2	1
営業外収益合計	8	22
営業外費用		
支払利息	1	4
為替差損	5	—
消費税差額	0	2
その他	0	0
営業外費用合計	6	8
経常利益	2,110	1,864
特別損失		
固定資産除却損	0	—
事業所閉鎖損失引当金繰入額	—	9
特別損失合計	0	9
税金等調整前四半期純利益	2,110	1,854
法人税、住民税及び事業税	261	317
法人税等調整額	384	255
法人税等合計	646	572
四半期純利益	1,464	1,282
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,464	1,282

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	1,464	1,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△4
為替換算調整勘定	48	△217
その他の包括利益合計	48	△221
四半期包括利益	1,512	1,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,512	1,060
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一部の連結子会社における四半期連結財務諸表の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			報告セグメント計	調整額	合計
	国内人材紹介事業	国内求人広告事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,733	88	939	6,760	—	6,760
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	3	—	10	△10	—
計	5,739	92	939	6,771	△10	6,760
セグメント利益又は損失(△)	2,124	△0	△13	2,110	—	2,110

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。
2. 国内求人広告事業の報告セグメントにはのれん償却額0百万円が、海外事業の報告セグメントにはのれん償却額46百万円が、含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			報告セグメント計	調整額	合計
	国内人材紹介事業	国内求人広告事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,713	77	623	6,414	—	6,414
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	4	2	9	△9	—
計	5,715	82	626	6,424	△9	6,414
セグメント利益又は損失(△)	1,923	△6	△62	1,854	—	1,854

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。
2. 国内人材紹介事業の報告セグメントにはのれん償却額18百万円が、国内求人広告事業の報告セグメントにはのれん償却額0百万円が、海外事業の報告セグメントにはのれん償却額44百万円が、含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2020年1月31日付で株式会社バンテージポイントの株式を取得し新たに連結子会社化したことに伴い、国内人材紹介事業セグメントにおいてのれんが740百万円増加しております。